



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 大興電子通信株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8023 URL https://www.daikodenshi.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松山 晃一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 大西 浩 TEL 03-3266-8111  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	25,140	△16.2	147	△89.3	205	△85.4	13	△99.0
2020年3月期第3四半期	30,013	29.9	1,373	347.8	1,406	271.7	1,331	557.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 391百万円 (△73.4%) 2020年3月期第3四半期 1,471百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	1.01	-
2020年3月期第3四半期	97.25	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	23,347	8,433	36.0	615.69
2020年3月期	24,716	8,159	33.0	597.96

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 8,401百万円 2020年3月期 8,159百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2021年3月期	-	0.00	-	-	-
2021年3月期 (予想)	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	△10.2	800	△61.5	800	△62.0	500	△74.4	36.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	13,868,408株	2020年3月期	13,868,408株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	222,837株	2020年3月期	222,652株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	13,645,646株	2020年3月期3Q	13,694,057株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
3. 補足情報 .....	8
(1) 連結受注実績 .....	8
(2) 連結売上実績 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、世界規模で拡大し続けている新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）の影響を受け、国内外の経済が急激に悪化し経済活動が再開し始めたものの、年末にかけて感染が再拡大するなど、未だ感染拡大は収束せず国内経済は予断を許さない状況にあります。

当情報サービス業界では、同感染症の影響により商談機会の減少ならびに製造業と流通業を中心とする広範な民需顧客層における設備投資の延伸が一部で見られました。一方で、感染対策としてのテレワークへの対応等、従来にも増してデジタルトランスフォーメーションの必要性が認識されており、IoT化の取り組みや業務効率化・自動化を目的としたAI等の活用が今後さらに本格化していくものと見込まれます。

こうした環境の下、当社グループでは受注活動の強化と、収入安定化を目的としたストックビジネスの増強に取り組みました。中でも、セキュリティビジネスにおきましては、戦略商品「AppGuard®」に中小企業向けに最適化した「Small Business Edition」を新たに加え、ラインアップの充実を図りました。感染対策ソリューションとしては、顔認証技術に定評のある日本コンピュータビジョン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：アンドリュー・シュワベッカー）と提携し、同社の技術を活かしたAI温度検知ソリューション「SenseThunder」のほか、ミライアプリ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：渡嘉敷 守）とのIoW (Internet of Workers) 共同事業の一環として「IoW クラウドサービス 感染対策支援パック」の販売を開始しました。また、電子契約サービスの導入から運用支援、アフターサポートまでを一括でご提供するアウトソーシングサービス「DD-CONNECT」（ディ・ディ・コネクト）の提供を開始しております。

グループ運営においては、近年のM&Aにより取得しました連結子会社（株式会社DSR、株式会社アイデス、大協電子通信株式会社）とのシナジー創出により、業界共通の課題でもある技術者を中心とした人材不足への対応を推し進めております。

一方、社内的には「お客さま第一」の方針のもとお客さまの経営課題の解決をご支援するために、「人の品質」「物の品質」「仕事の品質」の向上を目指し、組織を横断するタスクフォース活動による品質向上に引き続き取り組みました。

この結果、販売面につきましては、富士通株式会社および同社グループとの連携強化による新規商談および既存顧客からの受注獲得に引き続き努めましたが、Windows7サポート終了と消費税改正に伴う入替需要が収束したこと、感染症の影響により特に首都圏における受注の延伸が発生したことにより、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高266億33百万円（前年同期比89.2%）、売上高251億40百万円（前年同期比83.8%）となりました。

部門別に概観いたしますと、情報通信機器部門におきましては、入替需要の収束ならびに感染症の拡大で営業活動が著しく制限された影響により、受注高は69億64百万円（前年同期比69.5%）、売上高は67億81百万円（前年同期比66.1%）と減少しました。

ソリューションサービス部門におきましては、受注高196億69百万円（前年同期比99.1%）、売上高183億58百万円（前年同期比92.9%）となりました。同部門の内訳としては、ソフトウェアサービスでは、受注高は前年同期比で増加しましたが、売上高は123億78百万円（前年同期比90.7%）と公共分野および民需分野ともに減少しました。

また、保守サービスでは、継続してストックビジネスの拡大を図りましたが、売上高は41億98百万円（前年同期比97.7%）と減少しました。

ネットワーク工事では、売上高は17億82百万円（前年同期比98.4%）と減少しました。

利益面につきましては、売上高減少に伴う売上総利益の減少、本社事務所リニューアル費用の計上ならびに感染症の影響による稼働減少などが継続し、営業利益1億47百万円（前年同期比10.7%）、経常利益2億5百万円（前年同期比14.6%）となりました。

また、法人税、住民税及び事業税ならびに法人税等調整額を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、13百万円（前年同期比1.0%）となりました。

#### <当社グループの四半期業績の特性について>

情報サービス産業の特性として、ハードウェアならびにシステムの導入および更新が年度の節目である9月、3月に集中する傾向にあるため、当社グループの売上高および利益は、第2四半期、第4四半期に増加する特性があります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末より13億68百万円減少し、233億47百万円となりました。この主な要因は、前連結会計年度末に集中した売上に係る債権が順調に回収されたことにより受取手形及び売掛金が28億84百万円減少し、現金及び預金が10億8百万円増加したこと、および投資有価証券が4億37百万円増加したことであります。

負債につきましては、前連結会計年度末より16億42百万円減少し、149億14百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が7億5百万円減少したことであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末より2億74百万円増加し、84億33百万円となりました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、2020年5月26日公表時から変更しておりません。

当第3四半期の業績は、概ね計画どおり推移しておりますが、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

また、感染症の影響による見積りの仮定につきましては前連結会計年度から重要な変更はありませんが、商談機会の減少ならびに製造業と流通業を中心とする広範な民需顧客層における設備投資の延伸が発生しており、今後も国内外の経済の低迷が長期化した場合は、当社グループの製品、サービスの需要が減少することで、当連結会計年度の経営成績に重要な影響を与える可能性があります。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,513,542	6,522,326
受取手形及び売掛金	8,284,090	5,400,060
機器及び材料	4,197	957
仕掛品	3,173,511	3,430,822
その他	685,796	831,871
貸倒引当金	△575	△490
流動資産合計	17,660,562	16,185,548
固定資産		
有形固定資産	1,493,933	1,604,533
無形固定資産		
のれん	581,422	481,584
その他	122,680	124,535
無形固定資産合計	704,102	606,119
投資その他の資産		
投資有価証券	1,381,126	1,818,887
退職給付に係る資産	492,804	436,583
繰延税金資産	2,475,014	2,218,411
その他	559,409	527,839
貸倒引当金	△51,646	△50,506
投資その他の資産合計	4,856,708	4,951,216
固定資産合計	7,054,744	7,161,869
繰延資産		
社債発行費	696	354
繰延資産合計	696	354
資産合計	24,716,002	23,347,772
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,238,323	3,532,488
短期借入金	3,000,000	3,400,000
1年内償還予定の社債	50,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	55,700	27,900
未払法人税等	294,531	5,776
賞与引当金	568,150	247,530
その他	2,354,590	1,775,716
流動負債合計	10,561,295	9,139,411
固定負債		
社債	100,000	—
長期借入金	209,250	188,325
役員退職慰労引当金	35,442	40,617
退職給付に係る負債	5,443,745	5,391,457
その他	207,076	154,389
固定負債合計	5,995,513	5,774,789
負債合計	16,556,809	14,914,201

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,969,068	1,969,068
資本剰余金	134,892	134,892
利益剰余金	5,883,596	5,760,977
自己株式	△74,296	△54,781
株主資本合計	7,913,260	7,810,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	400,891	716,693
退職給付に係る調整累計額	△154,516	△125,406
その他の包括利益累計額合計	246,374	591,286
非支配株主持分	△442	32,127
純資産合計	8,159,192	8,433,571
負債純資産合計	24,716,002	23,347,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	30,013,356	25,140,573
売上原価	23,117,085	19,502,500
売上総利益	6,896,270	5,638,072
販売費及び一般管理費	5,522,790	5,490,483
営業利益	1,373,480	147,588
営業外収益		
受取利息	162	137
受取配当金	31,179	30,374
違約金収入	—	10,000
雇用調整助成金	—	48,545
その他	25,610	22,667
営業外収益合計	56,952	111,724
営業外費用		
支払利息	21,107	18,710
リース解約損	129	5,898
固定資産除却損	413	19,182
その他	2,455	10,036
営業外費用合計	24,105	53,827
経常利益	1,406,326	205,486
特別利益		
投資有価証券売却益	15,822	1,499
負ののれん発生益	179,820	—
特別利益合計	195,642	1,499
特別損失		
投資有価証券売却損	1,248	—
投資有価証券評価損	—	19,999
会員権評価損	—	6,578
特別損失合計	1,248	26,578
税金等調整前四半期純利益	1,600,721	180,407
法人税、住民税及び事業税	236,167	29,697
過年度法人税等	771	—
法人税等調整額	27,247	104,302
法人税等合計	264,186	133,999
四半期純利益	1,336,535	46,407
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,752	32,569
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,331,782	13,838

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,336,535	46,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121,344	315,802
退職給付に係る調整額	13,422	29,110
その他の包括利益合計	134,767	344,912
四半期包括利益	1,471,302	391,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,466,549	358,751
非支配株主に係る四半期包括利益	4,752	32,569

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 連結受注実績

(単位：千円)

部門・品目		当第3四半期 (2020.4.1~2020.12.31)		前第3四半期 (2019.4.1~2019.12.31)		対前年 同期 増減率	前連結会計年度 (2019.4.1~2020.3.31)	
		受注高	構成比	受注高	構成比		受注高	構成比
情報通信機器		6,964,017	26.1	10,021,915	33.6	△30.5	12,498,093	31.9
ソリューション サービス	ソフトウェアサービス	13,344,636	50.1	13,292,686	44.5	0.4	18,010,059	46.0
	保守サービス	4,202,127	15.8	4,319,678	14.5	△2.7	5,657,248	14.5
	ネットワーク工事	2,122,543	8.0	2,233,897	7.4	△5.0	2,976,349	7.6
小計		19,669,307	73.9	19,846,262	66.4	△0.9	26,643,657	68.1
合計		26,633,324	100.0	29,868,178	100.0	△10.8	39,141,750	100.0

## (2) 連結売上実績

(単位：千円)

部門・品目		当第3四半期 (2020.4.1~2020.12.31)		前第3四半期 (2019.4.1~2019.12.31)		対前年 同期 増減率	前連結会計年度 (2019.4.1~2020.3.31)	
		金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
情報通信機器		6,781,655	27.0	10,258,264	34.2	△33.9	13,488,384	32.7
ソリューション サービス	ソフトウェアサービス	12,378,150	49.2	13,646,300	45.5	△9.3	18,880,626	45.8
	保守サービス	4,198,516	16.7	4,297,203	14.3	△2.3	5,789,728	14.1
	ネットワーク工事	1,782,250	7.1	1,811,587	6.0	△1.6	3,058,313	7.4
小計		18,358,917	73.0	19,755,091	65.8	△7.1	27,728,668	67.3
合計		25,140,573	100.0	30,013,356	100.0	△16.2	41,217,053	100.0